



議会だより

# おおたま

2026

No. 140

令和8年2月発行



## 令和7年度 二十歳を祝う会



大玉村二十歳を祝う会（1月11日）



# 必要な経費など

一般会計補正 1億3,461万円

## 12月定例会開催

12月定例会は、5日から10日までの6日間の会期で開かれました。  
内容は、村長提出案件17件（条例制定1件、条例改正8件、補正予算6件、人事案件1件、その他1件）および議員発議1件、合わせて18件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。陳情は1件提出され、審査結果は4ページのとおりです。

令和7年度 11月補正予算		
会 計 名	補 正 額	総 額
一般会計	127万円	57億3,861万円

令和7年度 12月補正予算			
会 計 名		補 正 額	総 額
一般会計		1 億3,461 万円	58億7,322 万円
国民健康保険特別会計		60 万円	8 億5,841 万円
介護保険特別会計		2,159 万円	9 億7,011 万円
後期高齢者医療特別会計		264 万円	1 億 178 万円
水道事業会計	(収益の支出)	90 万円	1 億7,558 万円
	(資本の支出)	△2,065 万円	1 億6,877 万円
農業集落排水事業会計		72 万円	1 億4,473 万円

令和7年度 1月補正予算		
会 計 名	補 正 額	総 額
一般会計	1億5,703万円	60億3,796万円

※議案第1号 令和7年度大玉村一般会計補正予算の専決処分 771万円

### 12月補正予算 主なもの

- 名誉村民章・略章作成業務委託料 130万円
- 定住促進住宅団地造成事業交付金 200万円
- 妊産婦健康管理に要する経費 31万円
- 農業機械等共同利用整備事業補助金 788万円
- おおたまのおいしい米出荷奨励事業補助金 150万円
- 地域活性化起業人協定締結業務委託料 36万円
- 有害鳥獣被害防止対策に要する経費 221万円
- 道路等維持補修工事費 1,500万円
- 本宮方部学校給食センター協議会運営負担金 156万円

### 人事案件

固定資産評価審査委員会委員の

選任の同意

人格、見識ともに適任であると認め、鈴木保夫氏（玉井字南町）の選任について同意した。任期は、令和7年12月24日から令和10年12月23日までの3年間。

# 有害鳥獣被害対策に

## 11月臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第84号	大玉村名誉村民条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第85号	令和7年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第86号	令和7年度大玉中学校（校舎・体育館・武道館等）照明LED化工事に係る工事請負契約について	原案可決
議案第87号	区長の委嘱について	同 意

## 12月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第 88号	大玉村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 89号	大玉村議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 90号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 91号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 92号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 93号	大玉村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 94号	大玉村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 95号	大玉村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 96号	大玉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 97号	大玉村名誉村民の推戴について	原案可決
議案第 98号	令和7年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第 99号	令和7年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第100号	令和7年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第101号	令和7年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第102号	令和7年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第103号	令和7年度大玉村農業集落排水事業会計補正予算について	原案可決
議案第104号	大玉村固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同 意
議員発議第7号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書について	原案可決

## 1月臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第 1号	令和7年度大玉村一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて（1月専決）	原案可決
議案第 2号	令和7年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決

## 12月に提出された陳情

件 名	提出者	付託委員会	審査結果
物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書	福島市舟場町 全日本年金者組合福島県本部 執行委員長 佐藤 征司	産業厚生	採 択

### 議員発議 意見書1件を提出

意 見 書	提 出 先
物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、 衆議院議長、参議院議長

※意見書とは…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。



12月定例会では9日、10日の2日間にわたり、8人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に5ページから12ページです。

さいとう 信一 齋藤 信一	1. PTA資源物回収の再構築を 2. 村内企業の人材確保の支援を	5ページ
わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 空き家対策の今後のあり方は 2. 子どもたちの健やかな成長のために	6ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. 村民の暮らしを支える制度の充実を 2. 鳥獣被害対策の充実を	7ページ
すどう ぐんぞう 須藤 軍蔵	1. 健全財政の維持と公共施設の今後は	8ページ
さんべい けんいち 三瓶 賢一	1. 空き家の実態と対応は 2. Jークレジット制度の普及を	9ページ
すがはら たかこ 菅原 貴子	1. 第五次大玉村総合振興計画の進行管理は 2. 村道弓谷地―大畑線拡幅工事の検討状況は	10ページ
たてした けんいち 舘下 憲一	1. 有害鳥獣対策で住民の安全を	11ページ
さわら さゆり 佐原佐百合	1. ホームページ改善と公式LINEの導入を 2. マチュピチュ村との交流を深めるために	12ページ

※一般質問とは…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずねること。大玉村議会的一般質問は、一人30分以内で、答弁時間は含まない。

一  
般  
質  
問  
  
ここが聞きたい！  
8人の議員が登壇



# PTA資源物回収の再構築を

## 質問趣旨

PTAの資源物回収が廃止された学校もあるが、学校支援と環境教育につながる新たな仕組みの検討を求める。

さいとうしんいち  
齋藤信一 議員



**教育部長** 他  
の事例や地域の意向、学校の

安達広域行政組合を構成する自治体としては慎重に検討しなければならない。

**住民福祉部長** 回収された資源物は、もとみやクリーンセンターで収益化し、その一部を村内行政区に世帯数に応じて還元している。

**斎藤** PTA主導の資源物回収が廃止された小学校があるが、理由を伺う。

**教育部長** 保護者の多忙化や参加率の低下、資源物を回収するトラックがないなど搬送手段の問題が理由と伺っている。

**斎藤** PTA主導の資源物回収が廃止された小学校があるが、理由を伺う。



PTAによる回収された資源物の仕分け

現場の負担を踏まえ、学校やPTA等と意見交換を行いたい。

**斎藤** 資源物回収は、子どもたちがリサイクルを実体験で学ぶ貴重な機会であり、教育的効果も期待できるのでないか。

**教育長** 中学校では生徒会を中心にアルミ缶の回収を行い、社会貢献に役立てる学びを実践している。地域の方々の思いで何かしらできる取り組みがあれば、大変ありがたいと考えている。

**斎藤** 採用動画やパンフレット制作など、企業が自社の魅力を発信

支援していきたい。

**産業建設部長** 村ホームページの大玉村企業ガイドに企業が作成した求人情報のページをリンクすることは可能であると考えている。

**斎藤** 村の魅力と企業の求人を一体的にホームページで発信する採用広報ができないか。

**産業建設部長** 商工会との懇談会では、募集をして応募がないなど約7割の企業が人手不足と伺っている。

**斎藤** 村内企業でも人手不足が深刻化している。特に小規模事業者への影響をどう捉えているか。

## 質問趣旨

大玉村中小企業・小規模企業振興基本条例の理念に基づき、企業の採用広報やPRを行政が支援できないか。

# 村内企業の人材確保の支援を

する取り組みの支援を検討できないか伺う。

**村長** 商工会が中心に進めていただき、商工会が必要とする支援は協議し、これからも新たな支援も考えていきたい。



村の魅力と企業の求人情報の掲載を

# 空き家対策の今後のあり方は

## 質問趣旨

空き家の適正管理や利活用を促して、放置空き家にしないための対策を考える。

わたなべ けいこ  
渡邊 啓子 議員



**渡邊** 本村の空き家の実態調査の結果を伺う。

**総務部長** 空き家の可能性のある物件127件を実態調査した結果、56件が空き家と判定された。

**渡邊** 放置空き家にしていないための対応を伺う。

**総務部長** 固定資産税の納税通知書に空き家を適正に管理するお願いのチラシを同封し、空き家バンクや空き家を移住者等に貸す場合の空き家改修等支援事業補助金や解体する場合の空家除却費補助金の案内をしている。



空き家を活用し定住促進を

**渡邊** 相続など空き家に関する理解を深めるセミナーを開催できないか。

**総務部長** 空き家になる前の対策が必要であり、検討していきたい。

**渡邊** 村が空き家を取得または借り上げて改修し、安価な利用料で貸し出したり売却したりすることはできないか。また、田舎暮らし体験住宅として活用できないか。

**総務部長** 需要と供給のバランスが課題であり、現時点では需要は少ないと見ている。

## 子どもたちの健やかな成長のために

### 質問趣旨

幼稚園の弁当給食や放課後児童クラブは大変ありがたい制度であるが、課題はないか。

**渡邊** 10月から始まった幼稚園の弁当給食は大変評判が良いが、量が少ないという声がある。ご飯のおかわりができないか。

**教育部長** ご飯の標準量は110グラムで、おかわりは供給体制上の制約があり難しい。標準量で足りない場合は、弁当給食ではなく家庭の弁当に変更していただく対応をしている。

**渡邊** 弁当給食が始まる前からアンケート調査などはしているか。

**教育部長** 年度末までにアンケートを実施する予定である。

**渡邊** 放課後児童クラブの児童数が増えて過密である。外遊びもできない現状にある。これ

らを改善するために、それぞれの小学校に放課後児童クラブを置くことが必要ではないか。

**住民福祉部長** 学校からの送迎が不要になり、校庭で外遊びができるようになるなどの環境面でも小学校で実施す

ることが望ましいと認識している。現時点では大山小学校に空き教室がないため、今後の状況を見極めながら検討をしていきたい。



大切な食育のスタート



武田悦子議員



# 村民の暮らしを支える 制度の充実を

## 質問趣旨

福祉や教育は村政の柱、  
施策をさらに充実させるべきではないか。

**武田** 指定難病の方は村内には何人いるのか。医療費の助成はあるが、医療費以外に支援できる制度をつくることはできないか。

**住民福祉部長** 78人の方が認定を受けている。医療費以外の支援は他の自治体の状況を見ながら検討したい。

**武田** 保険証がマイナ保険証となり、滞納者には自己負担が10割となる資格確認書が発行される。経済的理由で受診できない人ができないように、対応をしているのか。

**住民福祉部長** 10割負担になることで受診控

えにならないよう税金の分納相談など、税務課や福祉分野と連携している。

**武田** 村内の小中学生の給食費は無償だが、特別支援学校に通学している子どもたちの給食費も無償にできないか。

**教育部長** 就学支援制度などにより、世帯所得に応じて負担軽減が図られている。現在、村内から特別支援学校に通う児童生徒は無償の対象である。

**村長** 特別支援学校に通学している子どもの給食費も4月から所得に関わらず全額支給したい。



10月に開講したあだち支援学校

# 鳥獣被害対策の充実を

## 質問趣旨

全国でクマの被害が増えている。人命を守ることは第一だが、共生するための取り組みも必要ではないか。

**武田** クマ対策は、村だけでなく県でも行われているが、県と連携した取り組みには何があるのか。

**産業建設部長** 専門家の派遣による出没箇所の診断と分析や対策に関する助言、緊急銃猟や夜間銃猟の講習会や想定訓練などがある。

**武田** クマ対策として柿の木伐採ややぶの刈払いも有効であるが、これらに村が支援できないか。

**産業建設部長** 県の支援事業がどこまで該当になるか検討していきたい。

**武田** 村の鳥獣被害計画は現状を踏まえた計画に見直すべきではないか。

**産業建設部長** 鳥獣被害対策実施隊の意見を聞きながら現状を踏まえ、見直しを検討したい。

**武田** 緩衝地帯の整備などクマと人間の生活空間を分けるゾーニングが有効だと思う。森林環境税を活用し、森

林環境の整備を進め、クマとの共生を考えられないか。

**産業建設部長** 森林環境税の使い道として、森林を害獣から守る取り組みもある。専門家の意見を聞きながら村に合った対策を検討したい。



鳥獣被害対策実施隊が設置した箱わな

# 健全財政の維持と 公共施設の今後は

## 質問趣旨

公共施設は更新や修繕、統廃合も視野に入れるべきである。  
その上で健全財政をどのように維持していくのか。

須藤軍蔵 議員



**須藤** 令和6年度の村の財政決算状況が公表された。各種指数から村の財政状況をどうみるのか。

**総務部長** 財政力指数は0・37、経常収支比率は87・8%、実質公債費比率は3カ年平均で7%、将来負担比率は数値算定には至らなかった。財政調整基金、特定目的基金ともに前年度末残高を上回っており、健全財政を維持できている。

**須藤** 公共施設の老朽化対策、整備計画は今後の自治体運営にとって大きな課題となる。内部での検討が行われていると聞くが、検討している施設はどこか。

**総務部長** 検討している施設は、堆肥センター、村民プール、学校プール、村民運動場のナイター設備、保育所、産業振興センターなどである。これから予定されている（仮称）子



住民サービスと公共施設を維持するには

育て支援センター及び大山公民館、再エネ・アグリパークなども整備検討の対象である。

**須藤** どのように優先順位をつけていくのか。

**総務部長** 現時点で優先順位は決まっていらないが、公共施設等総合管理計画、個別施設計画の見直しを行い、総合的に方向性を定めた

**須藤** 公共施設の修繕や更新、統廃合を決定するうえで方針決定に至るまでのプロセスが大事だと思う。考えを伺う。

**村長** 公共施設検討会には各分野から村民の皆さんに入っていたいただき意見を聞きながら方向付けをしていきたい。賛否両論は出ると思うが、将来のための決断

をすることも考えられる。  
**須藤** 人口減少が進むなか、財源の点からもこれまでの行政サービスをすべて利用することができない場合もあると思うが、弱者にシワ寄せがあつてはならない。どのように考えるのか伺う。

**村長** 行政需要を見極め、廃止または縮小の方向付けを行い、新たな住民サービスにつな





# 空き家の実態と対応は

## 質問趣旨

空き家の増加と荒廃が、景観や防災上の課題であり、空き家対策の強化が必要ではないか。

**三瓶** 空き家の実態と税制上の取り扱いを伺う。

**総務部長** 2月から7月に実態調査を行い、127件のうち56件が空き家と判定された。空き家等対策の推進に関する特別措置法により、特定空き家や管理不全空き家として市町村から勧告を受けると、住宅特例は解除され、翌年度から敷地にかかる固定資産税が増額となる。**三瓶** 敷地内の草や樹木が伸び放題となっている空き家への対応を伺う。

**総務部長** 敷地の境界を越えている草木の除去や放置物の撤去を村が実施し、その後も改善が見られないため、法に基づく立入調査を実施し、特定空き家と認定し、所有者への助言や指導をした事例がある。

**三瓶** 空家除却費補助金の件数と周知方法は。**産業建設部長** 本年度は2件である。緊急を要する空き家の所有者には直接連絡するなど対応に努めている。

# Jークレジット制度の普及を

## 質問趣旨

**三瓶** 農家の新たな収入につながるJークレジット制度の普及活動の状況を伺う。

**産業課長** 令和6年度に認定農業者連絡協議会の主催で研修会を行った。今後はJAや関係機関と連携しながら検討していきたい。

**三瓶** Jークレジット制度に取り組んでいる農家数と面積を伺う。**産業課長** 確認できた農家数は4戸で、面積は約110畝である。

**三瓶** もみ殻などを活用した燐炭に取り組む考えはあるのか。**産業建設部長** 燐炭は土壌改良剤として利用でき、農地に施用すればJークレジット制度の対象となる。今後、農業振興公社や関係機

関と協議し、検討していきたい。

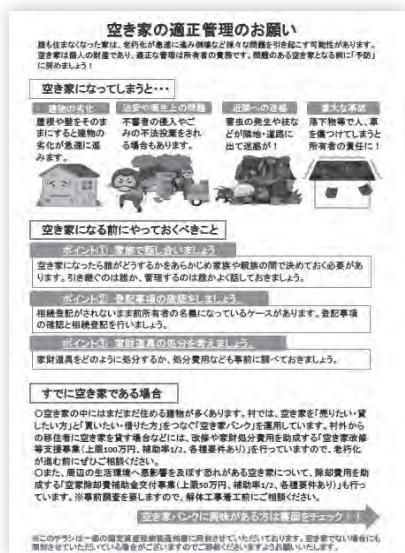
**三瓶** 玉井財産区の森林の適正な管理もJークレジット制度の認定対象となるのではないか。

**総務部長** 財産区有林のうち認証に必要な森林経営計画を策定しているのは約87畝であり、そのうち間伐や下刈りなどの作業が行わ

れている約15畝が該当すると思われるが、手続きが複雑で費用もかかる。また、定期的な作業が想定され、人員や費用を考えると難しい。

※Jークレジット制度：温室効果ガスの削減や吸収量を国が認証し、収益化できる国の制度。

三瓶賢一 議員



認定農業者連絡協議会研修会  
(令和6年6月6日)

# 第五次大玉村総合振興計画の 進行管理は

## 質問趣旨

令和8年度からの後期計画で重点的取り組む施策を伺う。

菅原 貴子 議員



**菅原** 総合振興計画の前期計画は令和7年度までである。8年度からの後期計画で重点的に取り組む施策を伺う。

**総務部長** 多岐にわたるが、農業の担い手の育成や新規就農者支援のほか、スマートICの整備と4号線沿線の工業集積拠点や直売所を核とした地域振興施設の整備である。定住人口増加対策と子育て支援の補助事業を維持しながら、（仮称）子育て支援センターの早期完成を目指していきたい。

**菅原** 前期計画で実現できなかった施策はあるか。

**総務部長** アットホームの運営の見直し、補助金や交付金の縮小による道路整備の遅れなどがあったが、おおむね計画に沿った事業展開が図られている。

**菅原** 後期計画の策定期間は。

**総務部長** 庁内で組織する企画調整委員会、パブリックコメント、総合振興計画審議会を経て年度末には決定していきたい。



## 村道弓谷地―大畑線

### 質問趣旨

児童生徒が安全に登下校できるよう道路拡幅の陳情の検討状況を伺う。

## 拡幅工事の検討状況は

**菅原** 令和6年3月議会で採択された陳情の村道拡幅工事のその後の検討状況を伺う。

**産業建設部長** 社会資本整備総合交付金事業において国が重点事業に掲げる通学路に関する交通安全施設整備事業の予算確保に向けて準備を進めている。

**菅原** 子どもたちの通学の安全確保のために、代替措置の進捗状況を伺う。

**産業建設部長** 待避所の設置を先行するなど、即効性のある安全対策の検討を進めていきたい。

**菅原** 道路の拡幅などの問題を解決するために、コンクリート製品を使ったプレキャスト工法によりガードレールを村道北側の水路上に移設できないか。

**産業建設部長** 道路幅員のあり方は総合的に検討しなければならぬ。事業用地の確保が困難な場合はプレキャスト工法なども検討したい。



通学路の安全確保を



# 有害鳥獣対策で住民の安全を

## 質問趣旨

連日のように出没するクマに、  
鳥獣被害対策実施隊が対応しているが課題も多い。

たて  
した  
けん  
いち  
館下憲一議員



**館下** 有害鳥獣対策の過去3年間と今年の実績を伺う。

**産業課長** 令和4年はイノシシが29頭、5年はイノシシが39頭、クマが1頭、6年はイノシシが24頭、クマが1頭、7年はイノシシが39頭、ニホンジカが3頭、クマが14頭である。

**館下** 緊急銃猟の実施の課題を伺う。

**産業建設部長** マニユアルの作成、講習会や想定訓練の実施、職員との連携や協力体制の構築などである。

**館下** 夜間の緊急銃猟の研修会を村ではどのように考えているか。

**村長** 県では開催されていないため至急、開催するように要望している。



住民の安全のために出動する実施隊

**館下** 休日、早朝、夜間などに村職員が対応しているが、負担を軽減できないか。

**村長** 夜も休日も担当職員が現場に行つて、写真を撮り、スプレーで日付を書くなどの作業をしている。実施隊の中で、写真を撮るなどの作業を行えるかを話し合っていたら、理解をいただければ、その方法を取っていき

**館下** ガバメントハンター※を設置する考えは。

**村長** 村では狩猟免許取得の費用全額補助や銃の購入補助もあるの

で、ガバメントハンターの設置も検討したい。

**館下** 捕獲に応じて実施隊に交付される報償が、国の予算の都合により減額されないよう働きかけているか。

**村長** 全国町村会や県町村会を通じて、国に要望している。

**館下** 重量のある箱わなを設置する作業を軽減するためにクレーンを導入できないか。

**館下** 国はクマを「とる」「まもる」「よせつけない」とあるが、「よせつけない」対策は何か。

**産業課長** 村の山林の半分以上を国有林が占めていることから、クマの食料となる木の実を植栽してもらったことができないか、林野庁等に要望するなど働きかけていきたい。



箱わな設置の作業軽減を

# ホームページ改善と 公式LINEの導入を

## 質問趣旨

スマートフォンでの閲覧が増える中、ホームページの見づらさの改善とLINEを活用した情報発信の工夫が必要ではないか。

佐原 佐百合 議員



**佐原** スマートフォ

ンで、村ホームペー  
ージの内容が正し  
く表示されないペ  
ージがあるが、把  
握しているのか。

**総務部長** スマ

ートフォンに対応し  
ているが、表や名  
簿が見づらい表記  
になっていることは把  
握している。リニユー  
アルに合わせて、見や  
すい表示になるように  
検討していきたい。

**佐原** ホームページを  
改善、もしくは更新す  
る考えは。

**総務部長** 更新に必要  
な財源確保ができない  
状況である。費用を抑  
えた更新も検討したが



ホームページの早期改善を

難しかった。運用開始  
から10年が経過し、現  
状に合わない部分もあ  
るため、引き続き検討  
していきたい。

**佐原** 多くの自治体が  
暮らしや防災などの情  
報を公式LINEで発  
信している。村が導入  
できない理由は何か。

**総務部長** 費用と発信  
業務の増加が導入に慎  
重となる理由である。

**佐原** 費用をかけずに  
利用できる基本機能を  
中心にしたLINEの  
導入ができるのではな  
いか。

**総務部長** ホームペー  
ジの更新とも併せて検  
討を進めていきたい。

## マチュピチュ村との交流を 深めるために

### 質問趣旨

村とマチュピチュ村の今後の方向性や交流の意義を伝え、  
未来を担う子どもたちと村民の理解促進につなげたい。

**佐原** 今後の交流は。

**総務部長** マチュピチュ

村から農業研修生を受  
け入れできないか検討  
を進めている。大玉村  
国内外交流協会主催で  
始まったスペイン語教  
室やマチュピチュ村の  
日本語教室への支援で  
将来の若者の相互交流  
の基盤づくりにつなげ  
たい。中高生や若者を  
派遣し、将来の両村の  
核となる人材育成にも  
取り組みたい。

**村長** JICAのプロ  
ジェクトを活用し、村  
民や村職員をマチュピ  
チュ村に派遣し、語学  
や文化交流する取り組  
みを検討している。

**佐原** 村民の皆さんに  
マチュピチュ村をより  
身近に感じてもらうた  
めには。

**総務部長** 10月26日を  
(仮称)大玉村とマチュ  
ピチュ村の日として毎  
年イベントの開催を検  
討している。

**村長** 富岡町の企業が  
制作したマチュピチュ  
遺跡の3D映像を活用  
し、小中学生や村民の  
方が遺跡を体感する機  
会をつくりたい。

**佐原** 学校では、国  
際理解をどのように  
取り組んできたのか。

**教育部長** ウクライ  
ナ支援募金活動やJ  
ICA隊員からの学  
びを通して、身近な  
国際協力を考え行動  
してきた。台湾の大  
竹国民中学との交流



日本の文化や言葉学ぶ  
マチュピチュ村の子どもたち

他に次の質問がありました。

・村道新座・仲ノ在家線狭あい道路整備事業の  
早期完成を





10月16日

10月16日（木）に協働の地域づくりや奨学金制度等に関する調査を行い、総務課と企画財政課から話を伺いました。

### 大槌町

10月9日（木）に岩手県大槌町において、地域づくりの取り組みと奨学金制度の調査を行いました。



大槌町（10月9日）

### 大槌町コミュニティ協議会

自治会、町内会、支援団体等が参加し、協働による地域・まちづくりの目指す姿「お

もっせえ大槌」の実現に向けた意見交換や企画提案の場として年2回開催しています。

### 集落支援員配置事業

令和6年度から住民と行政の「つなぎ役」として町内7地域に配置しています。活動は地域点検・調査や話し合いの支援などであり、集落支援員による「伴走型による地域支援」を行い、地域と行政が協働で地域づくりを進めています。

### 文化交流センター「おしゃっち」

図書館やふれあいセンター等を統合した町直営の施設で、夜10時まで子どもから大人までが気軽に利用でき、地域の大きな役割を担っています。館内年中行事は、住民が中心となり運営を支え、交流の活性化につながっています。



文化交流センター「おしゃっち」

### 奨学金返還 補填助成金

若年層の町内移住を促し、雇用の確保及び人材育成を図るために平成30年度から奨学金返還額の一部を助成する給付型の制度です。

### 奨学金制度

保護者が町内在住で経済的な理由により修学が困難な方を対象に育英のための貸付けを行い、町の発展に寄与する人材を育成する貸与型の制度です。

### 西郷村

11月13日（木）に西郷村において、奨学金制度の調査を行いました。



西郷村（11月13日）

### 人材育成基金奨学金

家庭の事情や経済的な理由で高校や大学等に進学が困難な学生に入学一時金を貸与することで、教育の機会均等を図り、社会に貢献できる豊かな人材を育成することを目的としています。平成23年度から調査や検討を進め、25年12月から奨学生の募集を開始しました。

### 奨学金返還 支援事業補助金

将来を担う若者の定住を図るため、村内に定住し、村内の企業等に就業している方を対象として、平成30年度から奨学金の返還を支援しています。

### 委員会の意見

協働の地域づくりは、行政区長や行政支援員だけに頼らない新たな方法を検討することが必要ではないかと感じました。

奨学金制度では、進学支援に加え、若者の定住や企業の人材確保を見据えた制度であり、事前調査や基金、企業版ふるさと納税による財源確保も行われていました。

本村の現状と照らし合わせる中で、多くの気づきが得られる貴重な機会となりました。



10月9日

10月9日（木）に農業振興施策に関する調査を行い、産業課と農業振興公社から農業の現状について話を伺いました。

乾田直播と湛水直播が行われた村内のほ場を調査しました。



農業振興公社の事業として令和6年度から乾田直播の試験栽培を行っており、7年度も乾田直播を行いました。粘土質のほ場での乾田直播は水稲の生育が難しい見通しとなったことから、通常の水稲栽培に切り替えまし

た。湛水直播は、ほぼ順調に生育し、今後は湛水直播のみの試験栽培を検討しているそうです。

### 委員会の意見

①湛水直播は条件の異なるほ場で研究が進められ、成果を積み上げるとともに、乾田直播も村内の適したほ場で研究が続けられることを期待します。

②農地集積に向けて、住民の理解をどのように深めていくかが大切であり、なぜ農地集積が必要なのかをていねいに説明し、住民の理解を進めていただきたい。

③農業振興公社の職員が現場に出て作業しなければならぬ現状にあり、農業振興公社本来の業務を確実にこなすように人員確保や業務体制の整備に努めていただきたい。

### 芳賀町

11月6日（木）には栃木県芳賀町において集落営農の調査を行いました。



芳賀町（11月6日）

芳賀町では平成22年から集落営農が始まりました。町には集落営農の団体がいくつかあり、今回は農事組合法人「農音」代表理事に話を伺いました。専業農家及び退職後帰農した3人が発起人となり、町、JA等に相談し3年かけて設立、平成31年に法人化しま

した。現場作業に女性2名が携わり、ドローン操作等のスマート農業や法人会計を担うなど新しい担い手像が形成されています。

法人化によりさまざまな補助金を受けることができ、補助金申請には行政の積極的な支援が行われています。ほ場整備率は98・9

%と高く、大区画化により省力化と低コスト化が進み、農地集積率も69・1%で、法人化・集落営農の組織化も進んでいます。さらに、自動操舵トラクター、ドローン、防除技術などスマート農業が普及しています。

### 市貝町

11月7日（金）には栃木県市貝町において集落営農の調査を行いました。平成5年に集落営農を導入した際に町がモデル地区を設定し、集落営農第1号と

して支援したことであまり軌道に乗りました。法人化の際に土地提供者や兼業農家や作業従事者など多様な住民が参画できる方式を採用したことも軌道に乗った要因です。遊休農地を法人が一括で借り受け耕作放棄地の抑制に成功している事例や3、4人の小規模組織でも20年以上継続している事例があります。複数の小規模営農組織の合併や連携を行政やJAが積極的に支援しています。



市貝町（11月7日）





朝日町議会



三川町議会

11月10日(月)に山形県朝日町議会、三川町議会において議会運営委員会と議会広報編集特別委員会が合同で研修をしました。町の将来を担う次世代の育成と議員のなり手不足の問題に真摯に向き合っている議会の皆さんと意見交換することができました。



朝日町議会



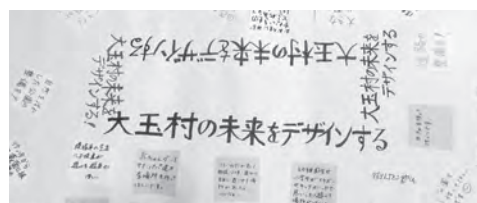
三川町議会

## 第6回おおたまコミュニティフェスタ

11月1日(土)に改善センターで開催されたコミュニティフェスタに大玉村議会も参加しました。

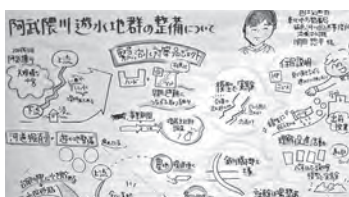
「大玉村の未来をデザインする」をテーマに小学生から大人まで皆さんがそれぞれに思うことをふせんに書いて貼っていただいたり、タブレットを使って地方議会検定に挑戦していただいたりしました。皆さんのご意見は、議会で精査し、議論して調査に役立てていきます。

次代を担う子どもや若者の皆さんにも議会を身近に感じて関心を持っていただけるように取り組んでまいります。



## 三城目地区遊水地対策協議会講演会(矢吹町)

矢吹町の複合施設KOKOTTOにおいて12月6日(土)に開催された講演会に大玉村議会も参加しました。福島大学の川越清樹教授の「遊水地の可視化に向けた取り組み」の講演や意見交換などを通して、阿武隈川流域で進められている遊水地群の整備や治水事業に理解を深めました。



## 議会広報編集特別委員会勉強会

12月19日(金)に全国町村議会議長会の研修動画を視聴しました。福岡県大刀洗町議会の平山賢治広報委員長から「議会活性化と連動した広報紙づくり」を学びました。



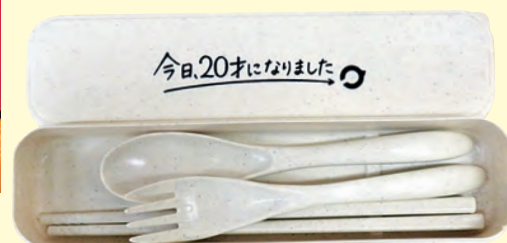




鈴木秀忠さん 白藤景さん 菊地彩菜さん 根本陽光さん 後藤拓真さん  
遠藤啓造さん 渡邊美咲さん 伊藤ひなさん 渡邊聖さん

### 2025おおたま二十歳のつどい実行委員

実行委員の皆さんは、学校や仕事と両立しながら準備をしてきました。地元に残っている人ばかりでなく、地元を離れている人も実行委員会に参加し、進めてきました。



### 二十歳のつどいの記念品

テーマ「今日、20才になりました」に込めた思いは

二十歳になった責任とお世話になった方々にお知らせしたいという思いを込めました。



記念品のカトラリーセットに込めた思いは

スプーンは「幸せをすくう」フォークには「幸せをかき集める」箸には「幸せの橋渡し」という意味があります。成人として自分の手で幸せをすくいあげ、かき集めてほしいという願いや、二十歳を節目に、自分たちが地域社会をつないでいく橋渡しになってほしいという思いを込めました。



社会との橋渡し、社会との関わりは

陽光さん 相手に合わせることも大切だと思っています。自分も成長してみんなから信頼されるような存在になりたいです。

景光さん 地域の祭りでの関わりが大きい。小さい頃からお世話になっているので、今度は恩返しをしていきたいです。

将来の夢は

彩菜さん 大学で先生になる勉強をしています。卒業後は県内で、学校と地域をつなぐ橋渡しをしたいです。

聖さん 柔道整復師、鍼灸師を目指して勉強しています。いったん地元を離れ、経験を積んで、大玉村に戻ってきたいです。

ひなさん 将来はまだ決めていないが、父から教わった米作りも楽しいです。農業もいいかな。

拓真さん 今は、地元を離れて新しいことに挑戦したい。将来は農業関係の仕事に就きたいです。

秀忠さん 家業を継いで、頑張りたいです。

美咲さん 歯科衛生士の資格を取り、社会と関わりながら、いろいろな分野に挑戦したいです。

啓造さん 設計士の勉強をしています。将来は、設計士として独立したいです。

広報委員のひとこと

秋に満点さくらカードのお花交換会でいただいた花苗を植えた。その花が寒さに耐えて一斉に咲く。

春になるとパンジーやビオラ、チューリップ、ムスカリなどが咲きほこり、私はこの季節が大好きだ。ガーデニングの趣味が加わり、美しい花との出会いが楽しみである。

菅原 貴子



編集  
議会広報編集特別委員会

委員長 渡邊 初治  
副委員長 佐原 百合  
委員 館下 憲一  
委員 菅原 貴子  
委員 渡邊 啓子  
委員 武田 悦子

発行  
大玉村議会 議長 押山 義則  
福島県安達郡大玉村玉井字星内70  
TEL0243-24-8103  
FAX0243-48-3137